



木津川沿い山背古道散策④(玉水～山城多賀)の記録

観察河川：玉川、南谷川(支流とも)

1. 日時: 令和4年7月21日(木)10時45分
2. 集合場所: JR 奈良線玉水駅
3. 参加者: 13名
4. 行程: JR 玉水駅 10:45 スタート⇒井堤寺跡⇒地蔵禅院・玉津岡神社⇒井手町文化財展示室⇒JR 山城多賀駅 14:00 解散



井手町中心部略図

今回は井手町エリアの山背古道をほぼ踏破する散策コースを設定していたが、熱中症予防のため当初予定コースの後半部約2km(谷川ホタル園から高神社・・・長い階段あり)をカットして実施した。玉水駅をスタートしてすぐに玉川の土手に上がり盛りのすぎたヤマブキと桜の遊歩道をしばらく歩き、長い上り坂を登りきると小さな東屋が見えてくる。ここが寺域 240m 四方に及ぶ井堤寺跡のほぼ中央部にあたる。



井手の玉川入口



井堤茶蔭(山吹?)故址の石碑



井堤寺跡

地蔵禅院への長い坂道の途中で武骨な石を積み上げた小野小町塚に出会う。地蔵禅院には樹齢約300年におよぶシダレ桜の老木がどっしりと立っていた。そのあと隣接している玉津岡神社へ移りその休憩所で食事



小野小町塚



地蔵禅院の桜の老木



玉津岡神社で昼食をとる

玉津岡神社から山背古道の原形をとどめていると思われる林道を通り自然休養村管理センター内にある井出町文化財展示室にて各自、自由に見学をする。井堤寺跡からの出土遺物を含め多くの文化財が展示されていた。そのあと再び竹林に囲まれた山背古道を通り抜け、ルート短縮して南谷川と支流の合流地点から一路、山城多賀駅に向かい全員無事に帰路につく。



玉津岡神社の本殿前で集合写真



竹林沿いの山背古道



散策ルート短縮分岐点で思案中

【栢ノ木遺跡の塔基壇跡発見につながる井手町新庁舎建設について一言】

昭和28年の南山城大水害により大きな被害を経験している井手町としては庁舎を現在の木津川沿いの低地から交通の便が少々悪くとも玉川の河岸段丘の高地に移転することは長年の懸案事項であったと思われる。そしてこの様な場所に大伽藍を擁した井堤寺を建立した先人達の知恵には学ぶべきことが多くある。